

# 国語辞典の仕組みや使い方を知り、 身近な言葉を調べよう

小学3年 国語  
「国語辞典の使い方」  
利用指導

ねらい

- 国語辞典はどんな時に使うのか、どんな仕組みになっているのかを知る。
- 国語辞典のひき方を知り、実際に活用することができる。

## 学 習 展 開 . . . . .

(写真、作品、ブックトークテーマ等)

- ① 国語辞典はどんな時に使うのか、どんな仕組みになっているのか、パワーポイントで作成したスライドショーでプレゼンテーションを行い、電子黒板に投影して紹介し興味づける。



- ② 国語辞典のひき方「つめ」・「はしら」を見て調べることを知らせる。
- ③ 50音順であることや濁音・半濁音・長音・拗音・撥音などの掲載順について知らせる。
- ④ クイズ形式で、実際に辞典をひき、身近な言葉を調べる体験をさせる。
- ⑤ 言葉の意味や言い切りの形について押さえ、さらに国語科や総合的な学習の時間、理科・社会科などの授業で活用するよう促す。
- ⑥ 学習のまとめと振り返りをする。

### ◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は、教室に児童と担任の先生分の国語辞典を配架できるよう準備する。
- 司書教諭は、児童用にプレゼンテーションを行うスライドショーを作成し、学級担任・学校司書と授業について打ち合わせをする。
- 司書教諭は、児童用ワークシートの用意をする。
- 司書教諭と学校司書は、国語辞典のひき方について困っている児童にアドバイスする。

### ★指導のポイント

- ◆ 授業の中でいつでも活用していけるよう、教室の手に取れる位置へ配架し、年間を通して国語辞典を貸し出す。
- ◆ 国語辞典の必要性・仕組み・活用について、児童の実態に合わせて楽しく学べるように配慮する。

資料

「チャレンジ小学 国語辞典」(ベネッセ)